

家具・建具・じゅう器小売業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	7～8	出勤時、店舗駐車場を店舗入口に向かい歩いていた時、道路が凍結していた為、滑り転倒する。転倒した際、頭を打つが勤務に就こうと準備中、気分が悪くなり様子を見ていたが、眩暈も発生した。	54～99	50～
1	19～20	店舗園芸館裏の什器保管場所にて、暗いなか什器を探しに向かう途中、道路側から什器保管場に入る際、手前の側溝に蓋が無いことに気付かず側溝にはまって右足首を捻ってしまう。	54～299	100～
4	20～21	退勤後、自家用車で帰宅するため店舗の駐車場（会社敷地内）を歩行中、暗くて足元が見えにくかったため、コンクリートの車止めに躓いて転倒し、左手をついた際に手首を骨折した。	53～299	100～
6	10～11	次にガスの開閉栓業務を行う顧客先へ向かうため、路上をバイクにて走行中、前方の信号が赤になったので、ブレーキを掛けながらマンホール上を通過した際、降雨により当該マンホールが滑り易くなっていたため、スリップして転倒し負傷した。	33～299	100～
10	12～13	ベッド売場を移動中、コードに躓き転倒。右膝を強打した。	57～49	30～
10	15～16	会社駐車場で（会社用）タオル等の洗濯物を取り込んでいる際、つまずいて2回転倒し右手を骨折した。	57	1～9

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html